

## 2010 北京国際旅遊博覧会へのブース出展に関する報告

2010年6月25日(金)～27日(日)、北京市にある中国国際展覽中心において開催された「2010 北京国際旅遊博覧会 (BITE2010)」に出展しました。

この博覧会は北京市旅遊局の主催で、毎年開催されており、今年は世界の82の国・地域から観光機構・旅行社など796団体が参加し、それぞれの観光資源を紹介しました。

当事務所は、ジャパンパビリオン内に「日本各地展」として、北海道、宮城県、富山県、山梨県、愛知県、沖縄県の6自治体と共同出展し、中国の旅行者や一般来場者に対して日本の106の自治体等から送付のあったポスター・パンフレット・DVDなどのPR資料による観光PRを行いました。

### 1 出展の目的

中国からの訪日旅行者は年々大幅な増加傾向にあり、日本の地方自治体による中国人旅行者の誘致活動も活発化してきておりますが、日本の地方都市の地名度はまだまだ低いのが現状です。

当事務所は、地方自治体の中国での共同の窓口として、日中地域間の交流や地域のプロモーション活動などを積極的に支援しています。これまでも、日本の地方自治体の要望を受け、北京・上海・大連・広州他各地での旅遊博覧会などで地方のPRを重点的に進めてきました。今回の博覧会についても日本の地方都市の魅力を紹介することにより、地方都市の知名度向上と訪日旅行者の誘客促進を図るため出展したものです。

### 2 開催概要

(1)会期：2010年6月25日(金)～6月27日(日)

(2)会場：中国国際展覽中心(北京市朝陽区北三環東路6号)

(3)主催：北京市旅遊局

(4)参加対象

航空会社、世界遺産、自然保護区、アトラクション、車・リムジンサービス、クレジットカード、各施設、文化地区、遊船・フェリー、観光スポット、政府観光局、ゴルフ場、キャンプ場、ホテル、旅行社、エンターテイメント、ショッピング、アウトレット、スパ、ビーチリゾート、ツアーオペレーター、予約システム他

(5)日本からの出展団体：

日本国自治体国際化協会北京事務所、新潟市・佐渡市、藤田観光株式会社、株式会社ジェイティービー、小樽オルゴール堂、株式会社プリンスホテル

(6)実績

<出展者>82の国と地域から796団体

<来場者>130,000人(一般来場者 100,000人、業界関係者 30,000人)

#### (7) スケジュール

6月25日(金)	9:00-17:00	業界日
6月26日(土)	9:00-17:00	業界/一般日
6月27日(日)	9:00-16:00	業界/一般日

### 3 自治体からの資料提供、共同出展について

2010年5月、当協会各支部あてに募集を行った結果、106の自治体等(※1)からポスターやパンフレット、DVD等の提供がありました。提供のあった30,793部のパンフレットはすべて配布しました。

また、上記募集で希望のあった北海道、宮城県、富山県、山梨県、愛知県、沖縄県の6自治体とは共同出展を行いました。

(※1)北海道、釧路総合振興局、後志総合局、北海道小樽市、北海道滝川市、北海道網走市、北海道石狩市、北海道登別市、北海道稚内市、北海道富良野市、北海道上川町、北海道由仁町、北海倶知安町、北海道福島町、北海道二セコ町、白老観光協会、青森県、青森県弘前市、青森県深浦町、岩手県、岩手県花巻市、岩手県北上市、岩手県奥州市、岩手県平泉町、岩手県岩泉町、宮城県、宮城県大崎市、山形県大石田町、福島県会津若松市、茨城県、群馬県、群馬県草津町、埼玉県さいたま市、埼玉県秩父市、千葉県、千葉県鴨川市、千葉県銚子市、東京都、東京都葛飾区、東京都台東区、東京都八王子市、神奈川県、神奈川県横浜市、神奈川県藤沢市、新潟県、富山県、石川県、石川県金沢市、石川県輪島市、石川県羽咋市、石川県小松市、石川県珠洲市、山梨県、岐阜県、岐阜県中津川市、岐阜県多治見市、岐阜県養老町、静岡県静岡市、静岡県富士宮市、静岡県焼津市、静岡県河津町、愛知県、愛知県名古屋市、愛知県田原市、愛知県岡崎市、三重県、三重県津市、滋賀県、京都府、京都府京都市、京都府福知山市、京都府宮津市、大阪府、大阪府大阪市、大阪府河内長野市、兵庫県豊岡市、奈良県、和歌山県、和歌山県和歌山市、島根県松江市、島根県出雲市、岡山県、岡山県岡山市、岡山県瀬戸内市、岡山県倉敷市、広島県広島市、山口県、山口県下関市、山口県宇部市、山口県長門市、徳島県、香川県、愛媛県、愛媛県松山市、愛媛県内子町、福岡県太宰府市、久留米コンベンション国際交流協会、長崎県、長崎県佐世保市、熊本県、熊本県熊本市、熊本県玉名市、大分県国東市、大分県中津市、鹿児島県、沖縄県

### 4 PR方法について

ジャパンパビリオン内に2ブースを確保(縦3m×横6m程度)し、次のとおり実施しました。

#### ①事務所職員によるPR

各自治体の観光PR用パンフレット配布、ポスター掲示、DVD上映などにより、当事務所職員が日本の各地域の観光PRを実施しました。

#### ②自治体職員によるPR(共同出展)

在中国自治体事務所6自治体(北海道、宮城県、富山県、山梨県、愛知県、沖縄県)の職員により、当事務所のブースの一部(机半個分程度)にて観光PRを実施しました。

## 5 アンケートの実施について

北京の旅行者・一般来場者の動向を調査するために、博覧会場において一般来場者 152 名、旅行者 44 名の合計 196 名の方に協力いただきアンケート調査を実施しました。

アンケート結果につきましては、下記の当事務所ホームページをご覧ください。

[http://www.clair.org.cn/act\\_cont\\_3\\_4\\_2010.htm#016](http://www.clair.org.cn/act_cont_3_4_2010.htm#016)

## 6 終わりに

中国からの訪日旅行者は年々着実に増加しており（※1）、昨年2009年は世界的な金融危機や円高、新型インフルエンザの影響などがあり、各国からの訪日旅行者が前年比で大幅に減少したにも関わらず、観光庁が行っているビジット・ジャパン・キャンペーンにおいて重点市場と定められた国・地域の中では唯一増加という結果（※2）を出しています。また、1月から5月の訪日外客数（※3）をみても、韓国に次いで2位となるなど、経済成長著しい中国の勢いが感じられます。

今年4月の大使公邸桜を観る会、5月の上海国際旅遊資源博覧会、6月の北京国際旅遊博覧会に3回出展した感想としては、今回の北京の調査では日本に行ったことがあると回答した方が3割近くとなっていることもあり、これまで中国では認知度が高く人気のあった北海道、東京、大阪、富士山という観光地を単一的に求める傾向から、その他の景色や自然が素晴らしい地域、漫画やお祭りなど特色のある地域に関心を持つ方も増え、他地域と差別化できるバラエティに富んだ各地の魅力をPRする必要性を感じました。また、実際に何月にどの地方に行くから、どこに行けば面白いのか、何のイベントをしているのか、買い物はどこでできるか、地域間の移動時間や距離についてなど具体的な質問も多く、博覧会の回を重ねるごとに徐々に来場者の訪日に対する関心の度合いが高まり、質問の内容も具体的かつ多様化してきていることを実感することができました。

本年7月1日からの中国人の訪日個人向け観光ビザ発給の緩和により、訪日観光客が大幅に増加すると予測されることから、日本の各地のPRがこれまで以上に要求され、効果を発揮するものと思われます。そのため、当事務所では、今後も中国各地で開催される旅遊博覧会等に出展し、日本の自治体の観光や物産等のPRを実施することにより、自治体のPR活動をサポートしていくこととしています。

なお、今年度の博覧会情報やこれまでの博覧会出展については、下記のホームページをご参照ください。

[http://www.clair.org.cn/activity\\_2.htm](http://www.clair.org.cn/activity_2.htm)

※1 中国の訪日旅行者数推移 <<JNTO 資料>>

2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
616,009人	652,820人	811,675人	942,439人	1,000,416人	1,006,085人

※2 2009年 訪日外客総数(重点市場抜粋)《JNTO 資料》

	総数	昨年比伸び率
韓国	1,586,772 人	-33.4%
台湾	1,024,292 人	-26.3%
中国	1,006,085 人	0.6%
米国	699,919 人	-8.9%
香港	449,568 人	-18.3%
豪州	211,659 人	-12.5%
英国	181,460 人	-12.2%
タイ	177,541 人	-7.5%
カナダ	152,756 人	-9.2%
シンガポール	145,224 人	-13.5%
フランス	141,251 人	-4.3%
ドイツ	110,692 人	-12.3%

※3 1月から5月までの訪日旅行客数比較(重点市場及び有望新興市場)《JNTO 資料》

	2010年	2009年	伸び率
韓国	989,800 人	576,245 人	71.8%
中国	600,600 人	441,540 人	36.0%
台湾	508,700 人	393,230 人	29.4%
米国	296,300 人	271,367 人	9.2%
香港	206,600 人	171,927 人	20.2%
タイ	102,000 人	86,407 人	18.0%
豪州	101,000 人	90,040 人	12.2%
英国	79,100 人	77,230 人	2.4%
カナダ	67,400 人	63,614 人	6.0%
フランス	61,400 人	58,913 人	4.2%
シンガポール	59,700 人	44,973 人	32.7%
ドイツ	49,500 人	46,293 人	6.9%
マレーシア	46,600 人	34,302 人	35.9%
インド	28,600 人	24,281 人	17.8%
ロシア	20,200 人	18,510 人	9.1%
その他	307,400 人	271,041 人	13.4%



来場者で賑わうクレアブース



クレアブース内共同出展自治体の様子